

Борис Гребенщиков и БГ+ в Японии

BG+
ボリス・グレベンシコフ
Live in Japan

2024年

11月19日[火] 東京

江東区文化センター ホール

開場 **18:00** 開演 **18:30**

●料金(全席指定・税込)

9,000円~18,000円

11月21日[木] 京都

ロームシアター京都 サウスホール

開場 **18:00** 開演 **18:30**

●料金(全席指定・税込)

9,000円~18,000円

Photo by Ivan Bessedin

●チケット(下記のサイトよりご購入ください)

カンフェティ

(東京公演) http://confetti-web.com/@/bgplusjp_tokyo



(京都公演) http://confetti-web.com/@/bgplusjp_kyoto



BG+公式サイト

<https://bgplus.live>

●お問い合わせ **BG+日本公演事務局** bgplusjp@gmail.com

2024年11月、ボリス・グレベンシコフ率いるBG+ ついに初来日!!

ソ連時代から常に時代の象徴となってきた伝説のバンド「アクワリウム」のリーダーで、BG(БГ)の愛称で知られるボリス・グレベンシコフ。2022年に新バンド「BG+」を立ち上げ、欧米を中心にコンサートツアーを続けている。この秋に東京と京都で開かれるコンサートでは、BG+の新曲やアクワリウムの名曲の数々が演奏される。



Photo by Ivan Bessedin



Photo by Valery Plotnikov, 19 sept 1987



Photo by Valentin Zhmodikov

1972年、レニングラード大学に通うボリス・グレベンシコフは友人たちとロックバンドを結成。のちに国内唯一の人気バンドとなる「アクワリウム」が誕生した。

ソビエト政権下、ロックミュージシャンたちは、社会の抑圧や閉塞感、世代間のあつれき、戦争、信仰、愛、友情などのさまざまなテーマを歌い、若者たちの熱狂的な支持を得た。非公式での活動を余儀なくされていた彼らは自作の歌を磁気テープに録音し、その歌はファンの間でカセットテープにダビングされることでソ連全土へと広まり、社会現象と言われるほどの大きなムーブメントとなっていく。

なかでもアクワリウムは絶大な人気を誇り、ペレストロイカのさなかの1987年には、国営レコード会社のメロディヤが非公式バンド初となるアルバム『АКВАРИУМ(アクワリウム)』を発売。ロシアの詩の伝統を受け継ぐ意味深い歌詞と世界中のさまざまな音楽的要素を組み合わせた独自のスタイル、そして社会的影響力の大きさは、西側の著名なミュージシャンたちからも注目され、1989年、グレベンシコフはデイヴ・スチュワートのプロデュースでソ連のロックミュージシャン初の欧米レーベル・アルバム『ラジオ・サイレンス』を発表。日本でもCBSソニーから発売されて話題となった。

アクワリウムはソ連崩壊後もロシアを代表するロックバンドとして国内外で広く活動を続け、2022年には結成50周年を迎えた。同年2月24日未明にロシア軍がウクライナ侵攻を開始。グレベンシコフは即座に反戦の意を表明し、記念ツアーを取りやめ、アクワリウムは活動を休止した。その後、アクワリウムのメンバー7人で新たに「BG+」を結成し、ロンドンを拠点に音楽活動を再開。ミニアルバムの制作や平和への祈りを込めたワールドツアーを続けている。

そしてこの秋、「BG+」がフルメンバーで日本にやってくる。

音楽を通じて自由と平和への思いを共有するとともに、50年以上にわたって人々を引きつけてきた歌の力と圧倒的なステージを、ぜひ体感してほしい。

Members

ボリス・グレベンシコフ Boris Grebenshikov / ボーカル、ギター

BG(БГ)として旧ソ連圏の誰もが知るロック界の第一人者。伝説のバンド「アクワリウム」のリーダー、シンガー・ソングライター、詩人。

アレクサンドル・チトフ Alexander Titov / ベース

ソ連時代の超人気バンド「キノー」のベーシストとしても知られ、著名なバンドのライブやアルバム制作にも数多く参加。

コンスタンチン・トゥマノフ Konstantin Tumanov / キーボード、アコーディオン

サンクトペテルブルク音楽院を卒業し2018年に「アクワリウム」に加入。若く豊かな才能でバンドの音楽性を広げている。

ブライアン・フィネガン Brian Finnegan / ホイッスル、フルート

アイルランド出身。ケルト音楽の第一人者で、アイルランドの人気インストメンタルバンド「FLOOK」のフロントマンとしても度々来日。

リアム・ブラッドリー Liam Bradley / ドラム

アイルランドの代表的ドラマー。ヴァン・モリソン、シネイド・オコナー、メアリー・ブラック、ローナン・キーティング等のツアーやアルバムに参加。

アンドレイ・スロツディノフ Andrey Surotdinov / バイオリン

バロック音楽などを演奏する古楽アカデミーで活動したのち、1995年にバイオリニストとして「アクワリウム」に加入。

グレブ・グレベンシコフ Gleb Grebenshikov / パーカッション

パーカッションニストとして、さまざまな打楽器を操る。ボリス・グレベンシコフの息子で、DJとしても活躍している。

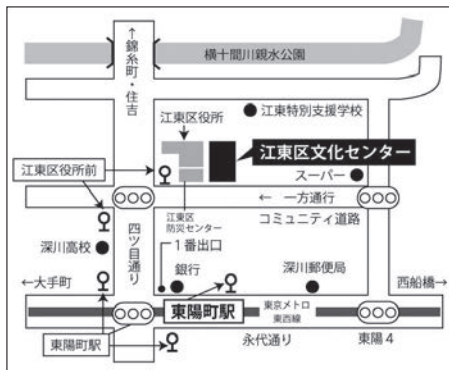
2024年

11月19日[火] 開場 18:00 開演 18:30

江東区文化センター(ホール)

Koto-ku Culture Center(Hall)

東京都江東区東陽4-11



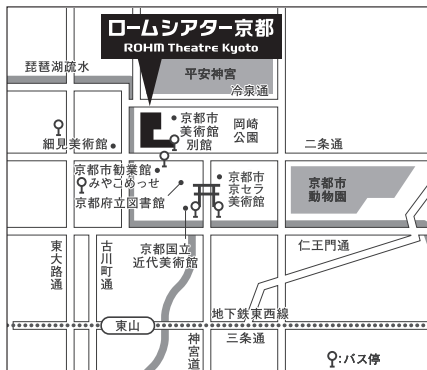
東京メトロ東西線「東陽町」駅1番出口より徒歩5分

11月21日[木] 開場 18:00 開演 18:30

ロームシアター京都(サウスホール)

ROHM Theatre Kyoto(South Hall)

京都市左京区岡崎最勝寺町13



京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車1番出口より徒歩約10分

当日17:30~会場ロビーにてオフィシャルグッズを販売!



(画像はイメージです)

(主催)BG+日本公演事務局(株式会社オフィス傳々内)
(制作協力)株式会社ゼロベース